

④新規用途開拓による地域農林水産物の需要拡大、ブランド向上

国産金時生姜を使った無添加ジャムシリーズの製造・販売事業

栽培が極めて難しい国産の金時生姜を収穫し、熟成、無添加製法によるジャムシリーズを製造、女性を中心に販売する事業。

➤ 連携体

農林漁業者 鈴鹿金時生姜生産組合(農業)

徹底した土地選定や栽培管理および肥料設計ノウハウ等により、安心安全な国産金時生姜の安定生産を図る。

(有)木村農園(飲食料品卸売業)、(株)信州自然食品センター(食料品製造業)

中小企業者

木村農園は、レシピ開発や金時生姜の熟成処理等を行うとともに、アンテナショップにおいて培ったノウハウを活かして販売する。信州自然食品センターは、熟成した国産金時生姜を原材料とし、無添加製法によりジャムを製造する。

連携参加者 (株)中日アド企画(広告業)

アンテナショップを通じた市場調査やインターネット販売による集客策等マーケティングに関する支援を行う。

サポート機関等 国立大学法人名古屋大学、(独)中小企業基盤整備機構中部支部

➤ 連携の経緯

生姜の風味や味を気軽に楽しめる「ジャム」の開発機会をうかがっていた(有)木村農園は、以前から取引があり、国産金時生姜栽培の拡大を通じて作付面積増加による遊休農地の解消を目指していた鈴鹿金時生姜生産組合と、素材を活かした新たな分野の商品開発を目指していた(株)信州自然食品センターと連携することにより、国産金時生姜を原料とした無添加によるジャムを開発し、販路拡大に取り組むこととなった。

➤ 連携に当たっての課題や工夫等

鈴鹿金時生姜生産組合は、土地選定や栽培管理の徹底と肥料設計ノウハウの導入や農薬使用を削減することにより、安心安全な金時生姜の生産を図る。信州自然食品センターは、生の生姜を使った無添加のジャム製造は初めての試みだったが、煮込時間や温度の最適化等を工夫して、金時生姜ジャムを製造する。木村農園は、愛知県のアンテナショップにおいての試験販売、消費者アンケートをくり返し、販売ノウハウを習得。インターネット販売や卸販売等で、女性を中心に新たな国産金時生姜の新規市場開拓を目指す。

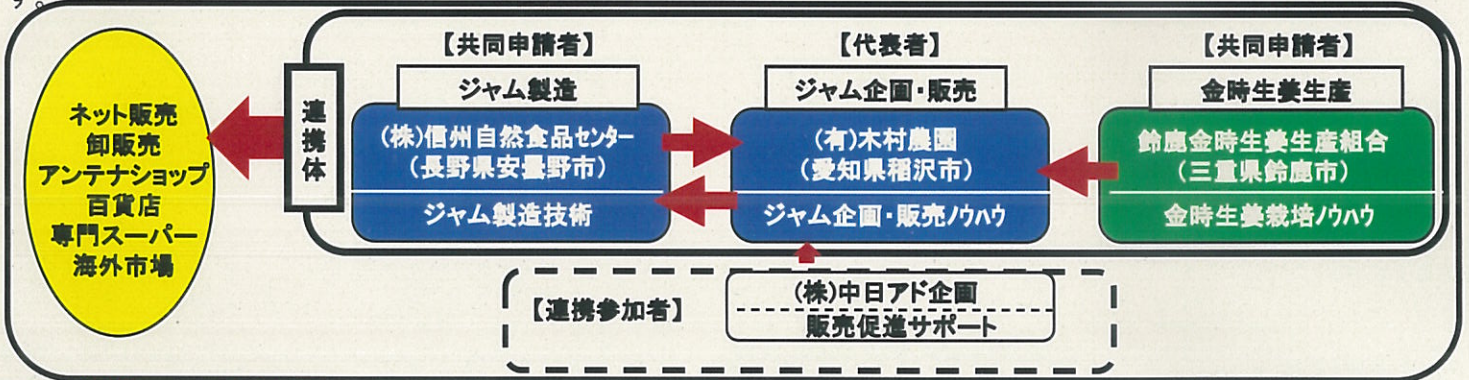


金時生姜畑

金時生姜



金時生姜ジャム(大瓶180gと小瓶80g)



➤ 連携による効果

農林漁業者 5年で567万の売上高増加、金時生姜生産量増加による地域農業活性化

生産組合としての国産金時生姜栽培の拡大を通じ、地域農業の活性化に取り組むとともに、作付面積増加による遊休農地の解消といった農地対策等につながることを期待される。

中小企業者 5年で4,500万の売上高増加、金時生姜ジャムシリーズの普及

国産金時生姜を活用した本物志向のジャムシリーズ商品による売上高増加と国産農作物の消費拡大により、地域全体の活性化・PR効果が期待される。

➤ 代表企業等の連絡先

企業等名 : 有限会社木村農園
 T E L : 0567-46-0228
 E - m a i l : info@shougaya.com

所在地 : 愛知県稲沢市平和町須ヶ谷郷473
 F A X : 0567-46-3527
 ホームページ : http://www.shougaya.com